

- 1日 灯台記念日
- 3日 文化の日
- 8日 立冬
- 15日 七五三
- 19日 家庭の日
- 23日 勤労感謝の日
- 26日~全国火災予防運動

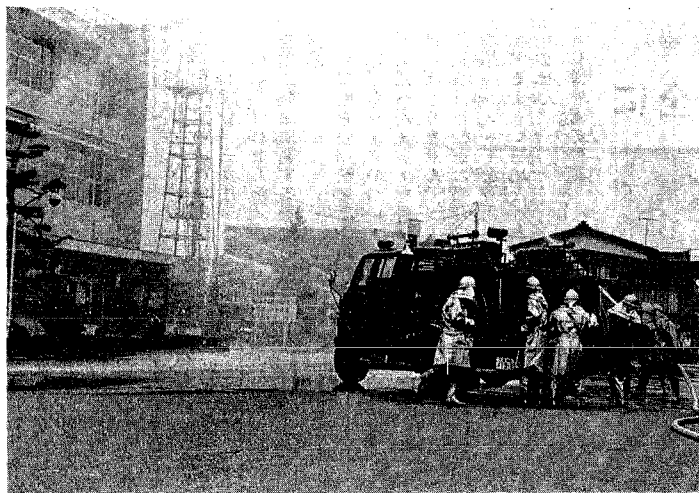
町だより

広報 三すど

発行所 小須戸町役場 ☎ 3111
 毎月1日発行 印刷 玉庭印刷所

(53・10・1 現在)

男	5,172 (+ 2)
女	5,489 (+ 6)
計	10,661 (+ 8)
世帯数	2,427



10月5日の役場における消防訓練

11月26日
 ↓
 12月2日
 秋の全国火災予防運動
 ゼンセンのまち場で火の用心

六分に一件の割合で火災が発生し、一日に六人が焼死、二十七人が負傷——これが、今年一月〜六月の火災発生ペース（全国）です。火災の発生原因は、相変わらず「たばこ」が第一位を占め、死傷者では、老人と子供の増加がめだつています。今年も十一月二十六日から十二月二日まで、秋の火災予防運動が行われます。

火災発生

六分間に一件の割合
 一日三億九千万円が
 灰に

四万一千二百二十二件
 これが、ことし一月から六月までの半年間に、全国で発生した火災の件数です。

これを一日当たりになおしてみると二百二十八件となり六分間に一件の割合で、消防車がサイレンをうならせているのです。

昨年の同じ時期に比べ、二千九百五件（七・六％）ふえています。

こうした火災による死傷者は、一月〜六月で、死者が千七百十五人、負傷者が四千九百二十四人——毎日、この日本列島のどこかで、六人の尊い命が失われ、二十七人が負傷していることになりました。

それでは、いったいどのくらいの額がむなしく灰になっているのでしょうか。
 この六月で二万九千五百五十九むねの家が燃え、六十

五万三千四百九十三アールの林野が焼け野原となっているのです。
 損害額はなんと七百十二億六千二百六十六千円にのぼり、毎日三億九千三百七十七万七千円を灰にしているわけですから、ほんとうにもったない話です。

これを一日当たりで見ると毎日約二十四件発生し、三千万円を灰にしていることになるのです。

たばこ

ポイと投げ捨て

損害額は

年間百七億円

「たばこの一本ぐらいたいしたことはないだろう——と思わないまでも、ポイと投げ捨てた経験をお持ちの方も多いと思います。しかし、火災防止の上では、たばこの投げ捨てがいちばんくせものなのです。ここ三、四年は減少していますが、この三原則を喫煙者は必ず守りましょう」

たばこの投げ捨てはしない
 歩行中の喫煙はしない、寝たばこはしない——この三原則

ガス安全使用強調月間

11月1日〜11月30日

十一月は全国一斉に「ガス安全使用強調月間」です。これからの時期が、ガス需要が増大しますが、ガスの正しい使い方やガス消費機器の正しい取り付け方法などガスを使用される皆さんによく知っていただき、ガスによる爆発・火災・ガス中毒などの事故の発生を未然に防止することを目的とするものです。
 ガスは一寸の不注意で大事故になります。正しく使う心がけをいつも忘れないでください。